令和7年8月8日

令和7年度 筑後川水系渇水調整連絡会 第1次渇水調整

I 渇水調整の背景

筑後川流域では、梅雨明け以降小雨傾向が継続しており、ダム貯水量、河川流量のさらなる減少が予測され、水利用が制限されることにより社会生活への影響が懸念される。

このような状況を受けて、8月7日に福岡県及び佐賀県から筑後川水系渇水調整連絡会の開催要請があり、以下のとおり、今後の総合的な水運用のための渇水調整を行うものである。

II 渇水調整事項

1. 福岡県及び佐賀県は、かんがい用水使用者、水道事業者等に対し自主節水及び更なる域内水源の活用について促す。
2. ダムの補給水を効率的に活用するため、江川ダム、寺内ダム、筑後大堰、合所ダム、大山ダム、小石原川ダムの貯留水の統合運用を行う。
3. 更に、異常な降雨状況が続いていることを受けて、小石原川ダムの渇水対策容量の活用検討に着手する。
4. 関係機関は、筑後川に係る水の利用者に対して、節水についての啓発活動を行う。